

2020年度歴史文化大学フォーラム 開催報告

開催概要：

2018年度より推進している「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」では、各地で歴史文化資料保全を推進する大学や関連機関との連携構築を通じて、資料調査や保存研究、データ記録化や相互支援体制の確立などの取り組みを目指しています。

この事業の中核拠点である人間文化研究機構と神戸大学・東北大学は、これまで首都圏・西日本・北日本を対象とした「歴史文化資料保全大学協議会」を開催してきましたが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は協議会の開催には至りませんでした。しかし、地域における資料保存・継承の連携を継続的に議論するため、3つの協議会が連携して、2021年3月28日に「歴史文化大学フォーラム」をオンラインで開催し、全国から60名の関係者が参加しました。

大規模自然災害が頻発する状況のなか、地域を単位とした多角的連携のあり方が各地で検討されています。特に、首都圏や東海地域において「資料ネット」が相次いで設立され、広域的な被害が想定される自然災害に備え、地域を越えた横断的な連携構築が模索されています。

本フォーラムでは、地域拠点とした誕生した新たな「資料ネット」活動の経過を共有するとともに、今後の展開に向けた課題や展望が示され、大規模地震が想定される首都圏や東海地域を中心とした歴史文化継承のあり方が議論されました。今後、新たに設立が検討される山梨での取り組みを踏まえ、多様な資料を保存・継承する地域拠点の形成と広域的な連携構築に向けて、持続的に議論を進めていきます。

日時：2021年3月28日（日）13:00～17:00

会場：オンライン

主催：人間文化研究機構「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」

プログラム

- 趣旨説明：天野真志（国立歴史民俗博物館）
- 報告1：「群馬歴史資料継承ネットワークの設立経緯と現状」
 築瀬大輔（群馬県立女子大学）
- 報告2：「栃木における資料保存の実践例」 坂本達彦（國學院大学栃木短期大学）
 「とちぎ歴史資料ネットワークの設立経緯と現状」 高山慶子（宇都宮大学）
- 報告3：「山梨の文化財ネットワーク構築について」
 西願麻以（山梨県立博物館）・岡田靖・三浦麻衣子（帝京大学）
- 報告4：「東海資料ネットの現在」 大塚英二（愛知県立大学）
- コメント1：久留島浩（国立歴史民俗博物館）
- コメント2：奥村弘（神戸大学）
- 討論：（司会：天野）
- 閉会挨拶：青山宏夫（人間文化研究機構理事）